

みやぎ

おおひら 議会だより



令和4年度当初予算
予算審査特別委員会
一般質問

新しいおともだちをお出迎え
(ききょう平保育園入園式)

築工事に着手 (成予定)

一般会計予算

42億9,000万円

(前年度より1億8,000万円増)



学校給食センターイメージ図

令和4年第1回定例会は、3月1日から11日までの11日間にわたり開かれました。
 村長提出案件は、人事案件3件、条例制定1件、条例廃止1件、条例改正9件、財産処分1件、他の普通地方公共団体の公の施設を住民が利用する議案1件、令和3年度補正予算7件、令和4年度各種会計当初予

算7件の全30議案が提出され、全て原案どおり可決しました。議員からは決議案1件が提出され原案のとおり可決しました。
 一般質問は4名の議員が質問し、15Pから19Pに掲載しております。

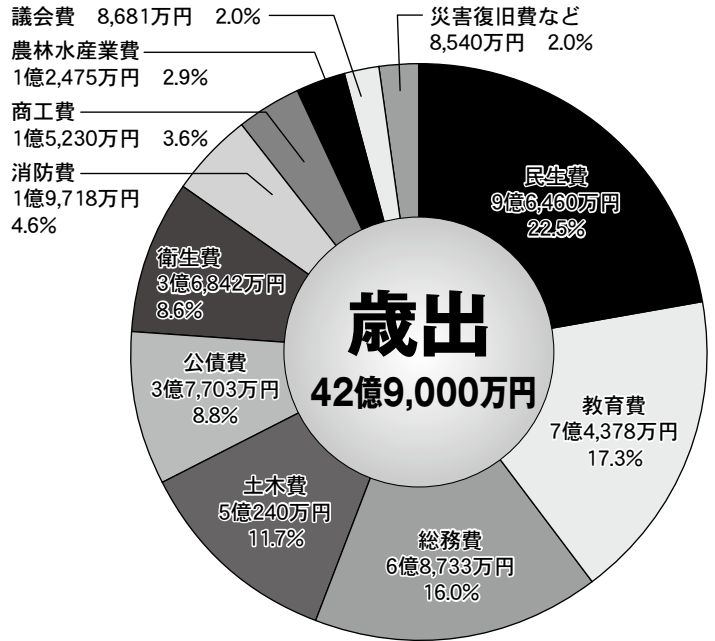
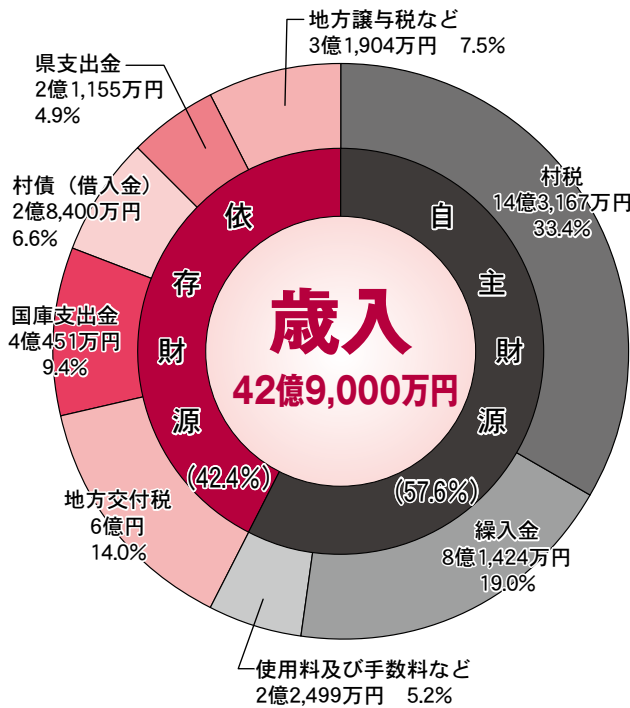
◎各種会計予算

| 会計別 | | 予算額 | 前年度比 |
|------|-----------|-----------|-----------|
| 特別会計 | 国民健康保険事業 | 4億8,200万円 | △300万円 |
| | 下水道事業 | 3億3,600万円 | 1億640万円 |
| | 介護保険事業 | 6億4,380万円 | 230万円 |
| | 戸別合併処理浄化槽 | 4,400万円 | 320万円 |
| | 後期高齢者医療 | 5,830万円 | 280万円 |
| 水道 | 収益的収入及び支出 | 2億3,620万円 | △665万円 |
| | 資本的収入及び支出 | 3億5,822万円 | 3億3,734万円 |

令和4年度
予算成立
 全会一致で可決

学校給食センター建

(令和5年度完)



◆ **主な実施事業** ◆

- 学校給食センター整備事業 …… 3億2,154万円
- 村道4路線改良工事事業 …… 8,486万円
- 牛野ダム・万葉クリエート
 パークキャンプ場整備事業 …… 1,253万円
- 万葉バス更新事業 …… 2,208万円
- 大衡中学校講堂改修事業 …… 774万円
- 仙台北部工業団地内遺跡調査事業 …… 3,898万円



更新される万葉バス

| | |
|------------------------------|-----------------------------------|
| 村民1人あたり R4.2.28 現在 5,740人 | 747,387円 (前年度 701,365円) |
|------------------------------|-----------------------------------|

ここに注目

令和4年度各種会計の予算を審査するため、予算審査特別委員会（委員長 遠藤昌一・副委員長 佐々木金彌）が5日間にわたり開かれました。

特別委員会では課長などに質疑を行い、慎重審議した結果「可決すべき」と決定し、3月11日の本会議で議長に報告しました。



遠藤昌一委員長

主な質疑

学校給食センター整備

問 総事業費8億6000万円の財源内訳は。

答 防衛交付金基金70%・起債17%・一般財源13%である。

問 施設内衛生機器の具体的な内容は。

答 衛生管理基準が変わり、現在のウエット方式からドライ方式となる。

汚染区域と非汚染区画を明確に区分し、安全・安心な給食を提供する。

仙台北四番丁大衡線

問 事業総額と事業内容は。

答 県の事業費2000万円の内、村負担が200万円で、用地測量を予定している。

村は地権者との連絡調整や現地立会い等に協力していく。

村道平林線改良

問 事業の内容は。

答 小学校校門付近のポプラ並木部分のスペースをバス乗降場として活用する。夏休みに向けて伐採業務をする予定。

高齢者等ごみ出し支援

問 事業内容と予算の積算内訳は。

答 シルバー人材センターに委託し、可燃ごみ週1回、資源ごみ2週間に1回支援の予定。
5世帯の支援を想定している。



ポプラ並木をバス乗降場に（小学校前）

予算 質疑

住民目線でこ



万葉クリエートキャンプ場予定地

万葉クリエートパークキャンプ場整備

問 キャンプ場の整備場所と事業概要は。

答 万葉おおひら館西側の、残土受入れ地を予定している。車を乗り入れできる日帰りキャンプ場を想定している。

米の生産調整

問 生産調整の考え方と推進対策費の減額理由は。

答 昨年産米の概算金は60kg 3100円下落し、令和4年も更なる減反、転作が求められている。

調整水田や、管理されていない補助金対象外とした相当分の1割を減額した。

下水道事業

問 国道4号拡幅に関連する工事の概要と場所は。

答 管の移設は総延長が約4・4kmで、中学校の村民プール北側付近から河原交差点の間で、国道の拡幅と同時に新設管を敷設し、古い管を切り離す工事となる。

問 待望の国道4号拡幅であるが、工事の最終年度は。

答 国交省の発注する工事に併せ、支障となる管を移設するため、現時点では明確でない。

水道事業

問 業務予定数量で給水世帯を233戸減少し、総給水量を2万5千m³増加した理由は。

答 契約戸数から住民登録戸数に、給水戸数のカウント方法を変えたために減少した。

給水量の増加は企業・工場の稼働増による工業系の水量増を予定した。

問 事業計画での有収率は。

答 直近のデータで約80%で見積もっている。

戸別合併処理浄化槽

問 施設管理における保守点検の報告体制は。

答 業務委託先のまちづくりセンターから、定期点検の結果、修繕の必要等の報告書が提出される。

問 施設の耐用年数と報告のあった異常の実態は。

答 設置され20年以上経過しており、ブロー関係の異常が多く、本体中のろ材が破損した故障例がある。

予算審査 特別委員会



村広報紙を各地区に送付準備するシルバー会員

シルバー人材センター

問 令和3年度設立されたシルバー人材センターの収支状況は。

答 初年度村補助金1300万円と県補助金100万円であり、収支は黒字である。

問 現在の会員数と会員募集の呼びかけは。

答 会員数は現在66名である。会員数に応じて国や県補助金が規定されているので、入会説明会を毎月開催している。

地域包括支援センター

問 令和4年度から社会福祉協議会に業務委託するが、各種介護予防事業の内容は。

答 新型コロナウイルスの影響で各種介護予防事業も縮減していたが、感染予防対策を徹底し、従来の事業内容に戻していきたい。

問 社会福祉協議会との委託契約手続きの現状と契約期間は。

答 昨年12月に社協と委託契約を締結し、業務内容について現在協議中である。

契約期間は令和4・5年度は単年契約となるが、次期介護保険計画にあわせ令和6年度からは3年間の契約としたい。

備品管理

問 備品管理台帳の記入漏れ等、監査での指摘が改善されていないのは。

答 年1回の台帳修正では漏れがあった。今後、管理体制を改善し、各課でその都度確認していく。

小田切A遺跡調査

問 県土地開発公社の所有地である仙台北部工業団地内の遺跡発掘調査を、村が事業主体で実施することになった経緯は。

答 昨年県で分布調査を実施し、造成工事の着手前に本調査を村で行うよう依頼があり協議してきた。

問 調査員や作業員の確保と調査に要する経費の負担は。

答 調査員は県文化財保護課の職員があたり、村では作業員の募集を行う。経費は県土地開発公社が全額負担する。

中学校講堂舞台改修

問 改修工事の内容は。

答 看板を吊るす美術バトン、絞り緞帳どんちゆうの設備交換、中割幕、バック幕レールの更新である。



中学校講堂のステージ

村税の増加

問 歳入予算のうち、村税が伸びた要因は。

答 給与所得者の増加により個人村民税の増額を見込んでいる。

固定資産税については、宅地への地目変更や新築家屋の増加と考えられる。

基金の運用方法

問 各種基金はどのように運用しているのか。

答 村が保有している基金の総額は約50億円で、25億円を定期預金し、残りを国債等債権で運用している。

問 運用先はどう決めるのか。

答 副村長、課長で組織された基金運用検討委員会で、安全性、利率等を検討し決定している。

コロナウイルスワクチン接種

問 現在までの3回目接種率と小児接種の対応は。

答 現在35%の接種率である。小児接種は5歳から11歳が2回接種で3月8日から1回目が接種スタートである。

問 感染に係る生活用品支援の内容は。

答 県より陽性者1人に対し、10日分の食料と生活用品が支給される。濃厚接触者には支給がないので、村から自宅待機で買物物が難しい世帯に生活用品を配布する。



スタートした小児接種

災害対策・防災訓練

問 災害対策費助成の内容は。

答 耐震診断の助成・危険ブロックの除去事業で167万円計上している。

問 防災訓練の計画内容は。

答 総合防災訓練、避難所の開設訓練、防災研修会を予定している。

防犯灯設置

問 防犯灯設置に18基分子算化されているが設置箇所はどのように決めるのか。

答 住民や区長からの要望に基づき場所を選定している。

問 どのようなタイプのもので、電気料への影響は。

答 村内の防犯灯はすべてLED化になっており、蛍光管との比較で電気代は3割削減される。

万葉バス運行路線

問 バスの利用者は、中学校の生徒が多い。

バス停まで距離のある地区もあるがバス停を増やす考えは。

答 今後の公共交通体系とスクールバスやデマンド型交通も含め、総合的に検討していく。

職員の人事管理

問 令和4年4月1日時点の正職員数と居住地別の割合は。

答 正職員数は91名で、うち村内居住は約4割、他市町居住は6割である。

会計年度任用職員は50名である。

問 職員の精神面の健康管理にどのような配慮をしているか。

答 年1回ストレスチェックを行い、早期発見に努めている。また、相談医に面談できる体制を整えている。人間関係に関する職員研修も実施する予定である。

3億円を新設

一般会計予算 57億2,070万円

補正の主なもの

◎歳入の補正

村税 …………… 2,596万円
 地方交付税 …………… 9,911万円
 土地売払収入 …………… 1,602万円
 基金繰入金 …………… 6億6,769万円

◎歳出の補正

財政調整基金積立 …………… 3億8,227万円
 公共施設整備基金積立 …………… 3億円
 減債基金積立 …………… 9,909万円
 公共施設用地取得費 …………… 1億746万円
 黒川地域行政事務組合消防負担金 …… 2,024万円

◎各種会計補正額

| 会計別 | | 補正額 | 予算額 |
|------|-----------|-----------|------------|
| 一般会計 | | 8億1,102万円 | 57億2,070万円 |
| 特別会計 | 国民健康保険事業 | 1,545万円 | 5億745万円 |
| | 下水道事業 | △78万円 | 2億3,082万円 |
| | 介護保険事業 | △1,316万円 | 6億4,692万円 |
| | 戸別合併処理浄化槽 | 22万円 | 4,682万円 |
| | 後期高齢者医療 | 49万円 | 5,790万円 |
| 水道 | 収益的収入及び支出 | 1,973万円 | 2億6,279万円 |
| | 資本的収入 | 612万円 | 879万円 |

答 産・解散3件、相続放棄等が4件である。

問 水道事業の不納欠損11件の内訳は。

水道料金

主な質疑

問 県中間管理機構の協力金減額の要因は。

答 平成26年から始まった事業であり、協力金等の見直しで全国的に減額された。

農業費補助金

問 遅れているほ場整備が必要である。今後の農地維持への方策は。

答 農地整備には補助金があるが、自己負担が発生することから進まない現状である。後継者育成のためにも、法人での雇用10万円補助制度をPRし、育成に努めていく。



農作業の効率化を目指して

令和3年度
補正
予算

基金を統廃合 公共施設整備基金



代替バス駒場線の通学風景

地域型交通

問 デマンド型交通、代替バス、高齢者等タクシー利用の補正内容と理由は。

答 デマンド型交通は車両借上料や燃料費58万円を減額、代替バスは運行実績により143万円減額となる。タクシー利用助成は利用が増える見込みであり47万円増額する。

常備消防費

問 黒川消防に係る負担金の増額要因は。

答 地方交付税の算出において、国税調査人口が増えたことと、人口1人への消防費単位数費用が1万1400円から1万1700円に改定されたことにより増額するもの。

主な質疑

特殊詐欺撃退電話機購入補助

問 補助金減額の理由は。

答 1台につき上限1万円の補助金で、当初30台を予定したが6件の申請のみであったため減額した。

基金の整理

問 基金の統廃合による補正内容は。

答 廃止の地域振興整備基金、土地開発基金、ふるさと創生基金を繰り入れし、財政調整基金と創設された公共施設整備基金へ振分けて積立とする。

問 廃止する基金の原資に、使途が特定された財源は含まれていないか。

答 3つの基金とも特定財源は入っていない。

事業内容の周知が必要ではないか。

問 事業内容の周知が必要ではないか。

答 広報紙やホームページ等で周知をしていく。

村誌編さん業務

問 当初予算の全額を減額する理由は。

答 会計年度任用職員による業務を予定していたが採用できなかった。

問 発行までの予定は。

答 令和5年度以降に専門職員を雇用、令和6年度に村誌編集委員会を立ちあげる。

令和11年の村制140周年記念式典には発行予定である。

条例制定

大衡村公共施設整備基金条例

答 土地面積が2万629㎡、帳簿価格1億624万円であり、一般会計予算で買い戻しする。

問 土地開発基金で取得した土地の処分はどうするのか。

答 残高は、土地開発基金が2億2814万円、地域振興整備基金が1億7007万円、ふるさと創生基金が2億5722万円である。

問 廃止される土地開発基金、地域振興整備基金、ふるさと創生基金の現在高は。

主な質疑

下記条例を廃止し、公共施設の整備等の財源に充てるため新設。

- ・土地開発基金条例
- ・地域振興整備基金条例
- ・ふるさと創生基金条例

広域利用

大和町病後児保育室の利用

答 村が利用料1人当たり2万5千円を負担し、利用者負担が2千円となる。

問 村の利用料と利用者の負担は。

答 看護師1名、保育士1名で定員は3名である。

問 施設の従事職員と利用定員は。

主な質疑

大和町が設置する大和町病後児保育室を富谷市、大郷町、大衡村の住民も利用できます。



大和町病後児保育室（黒川病院敷地内）



| 改正される条例と変更内容 | |
|--------------|---|
| 条例名 | 大衡村個人情報保護条例の一部改正 デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う |
| 条例名 | 職員の育児休業等に関する条例の一部改正 妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援のために講ずる措置の一環として、非常勤職員の育児休業・介護休暇等の取得要件の緩和等の措置による |
| 条例名 | 議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正 期末手当支給率の改正（10/100減）令和4年度以降支給期末手当162.5/100 |
| 条例名 | 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正 期末手当支給率の改正（10/100減）令和4年度以降支給期末手当162.5/100 |
| 条例名 | 職員の給与に関する条例の一部改正 期末手当支給率の改正（15/100減）令和4年度以降支給期末手当120/100 |
| 条例名 | 大衡村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正 期末手当支給率の改正（11.25/100減）令和4年度以降支給期末手当120/100 |
| 条例名 | 大衡村国民健康保険税条例の一部改正 未就学児の被保険者均等割額の減額などについて規定する |
| 条例名 | 大衡城青少年交流館条例の一部改正 指定管理の条項を村直営の表記に改める |
| 条例名 | 大衡村下水道条例の一部改正 一般財団法人宮城県下水道公社の解散に伴う、責任技術者認定試験に係る条文を改める |
| 条例名 | 大衡村21世紀の田園文化創造基金条例を廃止する条例 基金設立の趣旨を達成したため、大衡村21世紀の田園文化創造基金条例を廃止する |



大衡城青少年交流館

主な質疑

大衡城青少年交流館

問 指定管理から外した後の施設運営は。

答 施設の管理運営は村直営で行い、職員は会計年度任用職員を配置する予定である。

問 宿泊施設として利用しない理由は。

答 建物が老朽化しているため、今後検討委員会を立ち上げ運営方法を考えていく。

財産処分

海老沢地区宅地開発に村有地売却



| | | |
|---------|-------------|--------------|
| 処分する土地 | 所在地 | 大衡村大衡字糸線11番1 |
| | 地目 | 雑種地 |
| | 面積 | 1,955㎡ |
| 処分目的 | 宅地開発用地 | |
| 不動産評価額 | 18,377,000円 | |
| 譲渡予定価格 | 5,865,000円 | |
| 譲渡の相手方 | 愛知県名古屋市 | |
| | 株式会社ユニホー | |
| 譲渡予定年月日 | 令和4年3月31日 | |

主な質疑

問 譲渡後の残地は。

答 水路と既存宅地の表面排水もあるので、村有地として残すもの。

問 譲渡予定価格は妥当か。

答 無償で村へ移管され、村道として認定し維持管理する。

問 道路の維持管理は。

答 開発面積が当初より狭くなり、事業者が見込んだ収支が厳しくなったことで、事業の採算性と市街地への定住化促進から妥当と判断した。

人権擁護委員候補者の推薦



作並ゆきの氏



加藤恵美子氏

人権擁護委員の推薦について、議会の意見を求められ、全会一致で適任であると答申しました。この後、村長が法務局へ推薦し、法務大臣が候補者を委員に任命します。

任期 3年 (R4.7.1~R7.6.30)

代表監査委員の選任



和泉 文雄氏

監査委員を選任することについて、議会の同意を求められ、無記名投票による採決の結果、全会一致で同意しました。

任期 4年 (R4.3.13~R8.3.12)

第1回臨時会

令和4年1月21日

補正 予算

一般会計補正予算1億3,003万円増額

補正の主なもの

◎歳入の補正

国庫支出金 …………… 5,463万円
基金繰入金 …………… 2,500万円
村債 …………… 5,040万円

◎歳出の補正

村道除雪費 …………… 1,820万円
道路改良事業 …………… 7,734万円
万葉クリエートパーク遊具更新工事
(そりすべり) …………… 3,300万円

問 竹ノ内蒜袋改良事業の内容は。

答 善川遊水地で築堤されることに伴い、衡南工業団地入口付近カーブの見通しを良くする工事である。

問 持足海老沢線が通行止めで不便である。予定どおり工事が進んでいるのか。

答 工期が延長しないように、国に要望していく。

主な質疑



工事が進む衡下持足地区

専決 処分

新型コロナ対策補正予算

◎補正の内容

子育て世帯への臨時特別給付金 …………… 5,600万円 (追加分1人5万円)
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 … 4,300万円 (1世帯10万円)
住民税非課税世帯等に対する福祉灯油助成事業 … 210万円 (1世帯6,000円)

指定 管理

指定管理者を指定

◎指定管理施設 指定期間：令和4年度～8年度

| 施設名 | 契約限度額 | 指定管理者 |
|-----------------------------|---------|----------------|
| ふるさと美術館 | 3,200万円 | (株)万葉まちづくりセンター |
| 村民体育施設 ・西部球場 ・多目的運動広場 | 1億448万円 | |



令和4年3月定例会提出議案 31件

| | |
|--|-----------------------------------|
| 同意第 1号 監査委員の選任 | 議案第19号 令和3年度大衡村下水道事業特別会計予算の補正 |
| 諮問第 1号 人権擁護委員候補者の推薦 | 議案第20号 令和3年度大衡村介護保険事業勘定特別会計予算の補正 |
| 諮問第 2号 人権擁護委員候補者の推薦 | 議案第21号 令和3年度大衡村戸別合併処理浄化槽特別会計予算の補正 |
| 議案第 4号 大衡村公共施設整備基金条例の制定 | 議案第22号 令和3年度大衡村後期高齢者医療特別会計予算の補正 |
| 議案第 5号 大衡村個人情報保護条例の一部改正 | 議案第23号 令和3年度大衡村水道事業会計予算の補正 |
| 議案第 6号 職員の育児休業等に関する条例の一部改正 | 議案第24号 令和4年度大衡村一般会計予算 |
| 議案第 7号 議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正 | 議案第25号 令和4年度大衡村国民健康保険事業勘定特別会計予算 |
| 議案第 8号 特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正 | 議案第26号 令和4年度大衡村下水道事業特別会計予算 |
| 議案第 9号 職員の給与に関する条例の一部改正 | 議案第27号 令和4年度大衡村介護保険事業勘定特別会計予算 |
| 議案第10号 大衡村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正 | 議案第28号 令和4年度大衡村戸別合併処理浄化槽特別会計予算 |
| 議案第11号 大衡村国民健康保険税条例の一部改正 | 議案第29号 令和4年度大衡村後期高齢者医療特別会計予算 |
| 議案第12号 大衡城青少年交流館条例の一部改正 | 議案第30号 令和4年度大衡村水道事業会計予算 |
| 議案第13号 大衡村下水道条例の一部改正 | 発議第 1号 ロシアによるウクライナへの侵略を強く非難する決議案 |
| 議案第14号 大衡村21世紀の田園文化創造基金条例の廃止 | |
| 議案第15号 財産の処分 | |
| 議案第16号 他の普通地方公共団体の公の施設を住民が利用することについて | |
| 議案第17号 令和3年度大衡村一般会計予算の補正 | |
| 議案第18号 令和3年度大衡村国民健康保険事業勘定特別会計予算の補正 | |

◇採決状況◇

○賛成 ×反対 議長（細川運一）は採決に加わらない。

| 議案 | 小川克也 | 佐野英俊 | 石川敏 | 小川ひろみ | 赤間しづ江 | 佐々木春樹 | 文屋裕男 | 高橋浩之 | 遠藤昌一 | 佐々木金彌 | 佐藤貢 | 細川運一 | 議決結果 (賛成:反対) |
|------------|-------|------|-----|-------|-------|-------|------|------|------|-------|-----|------|-----------------|
| 同意第1号 | 無記名投票 | | | | | | | | | | | — | 同意(11:0) |
| 諮問第1号～2号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 適任(11:0) |
| 議案第4号～23号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決(11:0) |
| 議案第24号～30号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決(11:0) |
| 発議第1号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決(11:0) |



4名の議員が登壇

質問者一覧表

佐々木 春 樹

- ・水道管の保守点検状況は
- ・五反田開発を促進するための小沓掛椋田線延伸を

石 川 敏

- ・住民の交通手段の確保をどうしていくのか

赤 間 しづ江

- ・牛野ダムキャンプ場整備計画を問う

佐 野 英 俊

- ・水道事業における漏水調査の結果と対策は

議会を傍聴してみませんか

皆さんが選んだ議員がどのような質問・発言をしているのか、村の執行部がどのような施策を考えているのか、是非議場で傍聴してみませんか。

次の定例会は

6月1日(水)

からの予定です

お問合せ先:大衡村議会事務局

☎345-6030

✉ gikai@village.ohira.miyagi.jp

※会議録は大衡村議会ホームページで閲覧できます。

水道管の保守点検確認状況は 改修計画を示すよう努める



佐々木春樹 議員

問 水道管の老朽化に伴う事故が全国各地で起きている。近隣市町でも対策に取り組んでいるが、村ではどの程度現状を把握しているのか。

村長 村の水道管は、設置後40年経過したものが44・4％である。法定耐用年数は40年とされているが、厚生労働省では60年から80年と示している。このことを考慮すると更新が必要な段階ではないと考えている。

問 国土交通省では40年以上経過した水道管事故が多発していると報告されている。改修計画を進めるべきではないか。

村長 令和3年度からアセットマネジメントの策定に着手している。将来の水道施設全体の更新需要を把握し、重要度・優先度を踏まえ、改修計画を示せるよう努めていく。

五反田開発を促進するための 小沓掛椋田線延伸を 令和5年度事業着手を検討



延伸が望まれる小沓掛椋田線

問 五反田開発の現状に進展はあるのか。

村長 地区整備計画区域は民間業者による開発が進んでいる。残る未利用地も開発の相談に対応し、検討に必要な情報提供を行っている。

問 小沓掛椋田線を四反田まで延伸すれば、開発意欲も高まると思うが。

村長 延伸路線となる（仮称）五反田団地線については、令和5年度事業着手を検討しているが、民間開発に併せて施工することで効果的な工事ができることから、現状を確認し着手時期を見極めたい。



石川 敏 議員

住民の交通手段をどうしていくか 利用しやすい交通体系を目指す

デマンド型交通

問 昨年10月から試験運行を始めたデマンド型交通の利用状況は。

4月以降の運行はどのように考えているか。

村長 1月末現在で登録者は174名、1日当たり乗車人数は6・2名、1便当たり1名である。

利用者の意見を聴きながら今後も継続し、本格運行に向けていきたい。

万葉バス

問 万葉バスは運行を始めて19年になるが、利用者の減少が続いている。

運行路線や停留所など具体的な運行内容を見直すべきではないか。

村長 万葉バスは小中学生の通学以外、住民の利用は1便当たり乗車人数1・5名と低い状況である。

デマンド型交通やスクールバスの運行も含めて、総合的に検討しなければならぬ。

代替バス

問 廃止路線バスの代替として、高校生通学用の駒場線、三本木大衡線の運行に村で株ミヤコーに補助金を出しているが利用状況は。

企画財政課長

2路線とも高校生の利用実績は減少している状況である。今後の運行委託については株ミヤコーと協議をしていく。

タクシー利用券

問 高齢者や障害者の方へのタクシー利用助成の状況は。今後事業内容の見直しは考えているか。

村長 タクシー利用券は年間2万4千円で、現在240名に交付している。

今後の助成内容については、デマンド型交通の状況も踏まえ検討していく。

交通施策の位置づけ

問 村の各種交通施策事業はどのような方針で今後展開していくのか。

村長

各施策事業はそれぞれの目的で創設されたが、地域公共交通体系のあり方として、各事業単体でなく総合的に検討し、より利用しやすい交通体系を目指していきたい。



自宅から乗車は便利です（デマンド型交通）

牛野ダムキャンプ場整備計画を問う

利用者負担を考えている



赤間しづ江 議員

県との協議結果

問 牛野ダムキャンプ場整備事業が令和4年度に計画されている。

ダムは県が管理する障害防止財産である。用途変更に係る関係機関との協議はいつ行われ、その回答はどうだったのか。

村長 財産管理の関係で王城寺原補償工事事務所と、河川管理では仙台土木事務所と昨年10月に事前協議を行った。

財産管理では占用変更、河川管理では占用申請の手続きを行えば問題ないとの回答を得ている。

地区住民への説明

問 キャンプ場運営に当たり、入場者受付、清掃、除草、地場産品販売など地区住民の協力は不可欠である。大瓜地区住民への説明は。

村長 2月22日に大瓜上集会所で住民説明会を開催した。

貴重なご意見を頂いたので、今後の検討課題とし理解が得られるよう努めています。

公園としての役割

問 一本しかないダム入り口道路にゲートが設置されれば、村民や不特定多数の人々が自由に入れる村立公園の目的に沿わないのではないか。

村長 達居森と湖畔自然公園は村の自慢の風景地である。

一周する村道牛野ダム線を廃止して管理道路とする用途変更、入り口にゲートを設置して利用料を納めてもらう運営方式である。村民は無料で利用できる仕組みづくりを検討する。



有料化が予定されている牛野ダムキャンプ場

料金の徴収方法

問 250万円の予算でリモコン式ゲートを設置するとなっているが、巡視員を置いての料金徴収は考えられないのか。

村長 一日拘束されることの負担や公平な料金徴収が難しいので断念した。

利用料の見込み

問 利用料の金額と収入見込み額の算出根拠は。

村長 県内の有料キャンプ場の利用料を参考にし、1グループ当たり3,000円程度と設定した。令和3年4月から11月までの実績の6割を見込み、その他収入と合わせ450万円と算出した。



佐野 英俊 議員

漏水調査の結果と対策は 16か所の漏水を確認

調査方法と結果

問 水道施設の老朽化による有収率の低下から、無駄な漏水を把握するため実施した調査の方法と結果は。

村長 11.6kmの配水管と各家庭の引き込み給水管1600か所の漏水音を路面上から確認し、弁栓などは機械による漏水工リアの絞り込み方法で調査した。

村管理の配水管で6か所、個人管理の給水管で10か所の漏水が確認された。

問 1日ドラム缶で約3000本無駄になっている漏水等の実態から、16か所の調査結果は妥当か。

都市建設課長

国道を横断する車道埋設部の漏水量が大きいと想定され、調査結果は妥当と考えている。

結果への対策

問 調査結果の報告を受け、その後の取り組みは。

村長 漏水確認16か所のうち、10か所の修繕を完了した。

国道の車道埋設部は、さや管で防護されているため場所の特定が難しい。

有収率の変動

問 漏水か所の一部修繕後、有収率の動きは。

村長 10か所修繕の翌月以降、前年度平均有収率73.3%に対し78.6%まで改善している。

※有収率

浄水し水道管に送った水の総水量に対し、料金収益の対象となった水量の割合。

アセットマネジメント策定

問 昨年3月の一般質問で、着手が遅れていると答弁の※アセットマネジメントの策定状況は。

村長 通常業務の傍ら資産・施設台帳の情報整理中で、施設の維持管理状況を反映させた更新需要見通し等の検討を進める。

なお、事業の広域化・共同化の検討も進めており、完成までには時間を要する。

※アセットマネジメント

中長期的財政収支に基づき施設の更新等を計画的に実施し、水道施設のライフサイクル全体にわたって、水道施設を管理運営するための組織的実践活動。

安全安心な水

問 管路や施設の老朽化は避けられない。今後、安全安心でおいしい水の供給を。

村長 必要な方策・対策を引き続き講じ、持続・安全・強靱な水道事業を進める。



“わずかな音も逃がさない” 路面音聴調査

R レポート Report



調査年月日：令和4年2月9日

新地域交通システム【デマンド型交通】

◎利用状況（令和4年1月末現在）

| | |
|--------------|-----------------|
| 区分 | 令和3年10月1日試験運行開始 |
| 運行日数 | 65日（週4日運行） |
| 乗車人数 | 297人 |
| 1日当り平均人数 | 4.6人 |
| 1日当り平均乗車率 | 15.23% |
| 上り利用者（大衡→大和） | 173人 |
| 下り利用者（大和→大衡） | 124人 |
| 登録者 | 174人 |



お蔭様で今日もお出かけします

◎デマンド型交通の満足度（アンケート結果）

| | |
|-------------|-----|
| とても満足している | 14% |
| 満足している | 29% |
| どちらともいえない | 25% |
| あまり満足していない | 18% |
| まったく満足していない | 14% |

◎調査を終えての所感・意見

引き続き利用者の声を聞き、利用しやすいデマンド型交通の構築が必要である。

シルバー人材センター

◎会員数（令和4年1月末現在） 61人

◎作業受注状況（令和4年1月末現在）

| 件数 | 就業延べ人数 | 作業内容 |
|------|--------|---|
| 137件 | 1,427人 | [一般家庭] 倒木竹処理、防風ネット解体、植木剪定、除草、畑作業、水田除草、除草剤散布、窓清掃 |
| | | [企業等] 清掃作業、加工作業、除草、植木剪定、庭木伐倒作業 |
| | | [行政等] 地下道・多目的施設清掃、社協事務所清掃、村道除草、ごみ散乱地区清掃、つるばみ苑・牛野ダムキャンプ場剪定、工業団地調整池除草、高齢者ごみ出し支援、村広報梱包作業 |

新型コロナワクチン接種

◎接種状況（令和4年1月末現在）

| 区分 | 対象人数 | 接種率 | | |
|-------|--------|------|--------|-------|
| 12歳以上 | 5,055人 | 2回接種 | 4,577人 | 90.5% |
| 18歳以上 | 4,731人 | 3回接種 | 676人 | 14.3% |

◎小児接種

| | |
|------|-----------|
| 対象者 | 5歳以上11歳以下 |
| 接種回数 | 2回 |
| 接種間隔 | 3週間（21日） |

| | |
|--------|------|
| 対象者数 | 467人 |
| うち就学児 | 395人 |
| うち未就学児 | 72人 |

調査年月日：令和4年2月2日・10日

請負工事

| 場 所 | 工事概要 | 進捗率 |
|-----------------|--|----------|
| 五反田運動広場整備工事 | 施設整備（園路165㎡、芝1,899㎡） 遊具整備（ロープアドベンチャー1基、ブランコ1基） サービス施設（あずまや1基、テーブル1基） | 1月末 70% |
| 長町小沼田前線外1改良舗装工事 | 延長120m 幅員5.0m | 1月末 60% |
| 海老沢線改良舗装工事 | 延長172m 幅員6.0m 歩道2.0m | 10月末100% |
| 海老沢2号線外改良舗装工事 | 延長156m 幅員6.0m 歩道2.0m | 10月末100% |

◎調査を終えての所管・意見

各工事とも計画どおりに進捗されており、工期内完了の見込み。
なお、海老沢線外2路線については今後追加工事を発注する予定。

イノシシ対策

◎有害鳥獣駆除実施隊活動状況（令和4年1月末現在）

| | | |
|---------|------------|------|
| わな設置 撤去 | 77人 | 173日 |
| 止めさし | 29人 | 65頭 |
| 処理等 | 31人 | 63日 |
| 予察捕獲 | 10人 | 10日 |
| 手当支給額 | 3,006,500円 | |

◎被害防止対策

- 無線式捕獲パトロールシステム
子機12台追加購入 合計72台
- 侵入防止ワイヤーメッシュ柵設置
大瓜上 延長9300m 設置謝礼 759,050円
大瓜下 延長8700m 設置謝礼 741,000円
- 被害防止電気柵購入補助金（令和4年1月末現在）
42件 補助金3,379,000円

◎調査を終えての所感・意見

イノシシ捕獲くりわな捕獲パトロールシステムの子機を追加購入したので、わな見回り作業の効率化と捕獲頭数の向上につなげられたい。

指定管理施設

◎今回調査した場所

- ①西部球場 ③ふるさと美術館 ⑤パークゴルフ場
②大衛城青少年交流館 ④万葉クリエートパーク ⑥上北沢排水処理場

◎調査を終えての所感・意見

指定管理者である株万葉まちづくりセンターの平成29年度から令和2年度までの業務及び収支決算報告書の提出を受ける。各施設とも収支は概ね良好な決算状況である。

大衛城青少年交流館は、令和4年度から村直営となるが、今後適切な施設の管理運営にあたられたい。



ふるさと美術館調査状況



大衡中学校 2年
おざわ そら 蒼空 さん

カウンセラーになりたい

僕の将来の夢はカウンセラーになることです。
なりたいたと思った理由は、心に悩みや苦しさを抱えている人を助けてあげたい、寄り

添ってあげたいと思ったからです。
誰かに相談できるということがどれだけでもの安らぎに繋がるかを、多くの人に知ってもらいたいです。
この夢の実現に向けて前進できるように、学校で様々なことを学び、自分を成長させていきたいと思っています。



大衡小学校 6年
たかはし ひめか 高橋 姫愛華 さん

保育士になりたい

私の将来の夢は、保育士になることです。私は子どもが好きで、いとこにめぐむみがいいねと言われます。その言葉で自信をもち、保

育士になりたいと思うようになりました。
お仕事をしているお母さんたちの役に立てたらいいと思います。この夢をかなえるために、勉強をがんばり、人にやさしくしていきたいです。



将来の



リメイク大好き仲間

うさぎの会

代表 早坂 ひろこさん

うさぎの会は、10年前の公民館事業のレディーススクーから発足しました。現在は9名で、村外からの方もおられ楽しく活動しております。講師は本村在住の熊谷なつみ先生です。毎月第2火曜日お待ちどおしく、生地大好きな仲間が集まり、ストレス解消の「おしゃべり」の場でもあり、いつでも笑いがいっぱいです。

し、先生のアドバイスで挑戦！また生地を交換したりあげたりしながら、仲間アイデアを出し合い、1人でなく、2人になると形になっていき、3人寄れば文殊の知恵で、できないことができるように喜びは最高です。
年1回の村公民館主催作品展に出品して、皆さんに見て頂くことが、嬉しく励みになっています。そして、年1回皆で出来上がったお洋服を着てのお食事会も楽しみです。

とびく輝



いつも笑いがいっぱい

●あとながき●

大衡村の令和4年度予算が決まりました。新型コロナウイルスの影響が続き、自然災害や軍事侵攻など国内外とも様々な困難が多い日常です。
総額42億円が村民みなさんの福祉の向上や、くらしの安定に役立つことを願うものです。

石川 敏

編集
広報広聴常任委員会
発行責任者
議長 細川 運一



事務局職員紹介

右から
局長 堀籠 緋沙子
次長 小原 昭子
主事 残間 頼

